

- 8月の米CPI、CPIコアのいずれも前月比、前年同月比の伸びが市場予想を下回る。9月のFOMCで利上げが確実視されるなか、FRBは徐々に利上げを進めるものと考えられる。
- 13日の米国市場では、VIX指数が低下。トルコリラが大幅に上昇したほか、米中両国の新たな通商協議に向けた取り組みが報道され、今後、金融市場が徐々に落ち着きをみせ始めるか注目される。

米CPIは市場予想を下回る伸び

13日に発表された8月の米消費者物価指数（CPI）は前月比+0.2%、また、振れの大きい食品とエネルギーを除いたCPIコアは同+0.1%と、いずれも市場予想（ブルームバーグ集計）を0.1%下回りました。内訳をみると、ガソリンの伸びが目立ったほか、全体に占める比率の高い家賃が上昇したものの、医療費のほか、被服費が同-1.6%と大幅に低下しました。また、前年同月比でCPIは+2.7%、CPIコアは+2.2%と、いずれも前月から伸びが鈍化し、市場予想を下回りました。

物価上昇基調の継続は、米連邦準備理事会（FRB）が利上げを継続するための理由の1つになると考えられ、25-26日に開催される米連邦公開市場委員会（FOMC）では0.25%の利上げが確実視されています。ただし、8月のCPIの動向などから物価の伸びが大きく加速する兆しは今のところみられない模様で、FRBは徐々に利上げを進めるものと考えられます。

市場は徐々に落ち着きをみせ始めるか

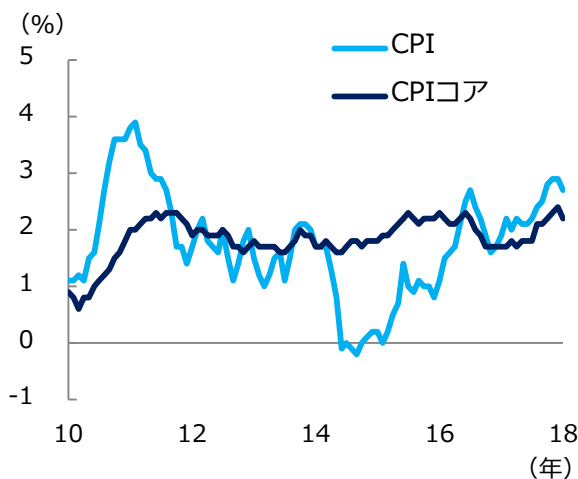
13日の米国市場では、CPI発表後に安心感が広がったとみられ、米国の主要株価指数の1つであるS&P500種指数のオプションから算出された変動性（ボラティリティ）で、市場参加者の不安心理を映すとされるVIX指数は低下基調をたどりました。また、同日、トルコ中央銀行が市場予想を大きく上回る利上げを決定したことでトルコリラが大幅に上昇したこともあり、米国株式市場はヘルスケア関連やハイテク株を中心に上昇しました。

足もとの市場では米中貿易摩擦が懸念材料となっていますが、今週に入り、米中両国が新たな通商協議に向けて取り組んでいるとの報道が散見されており、今後、金融市場が徐々に落ち着きをみせ始めるか注目されます。

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

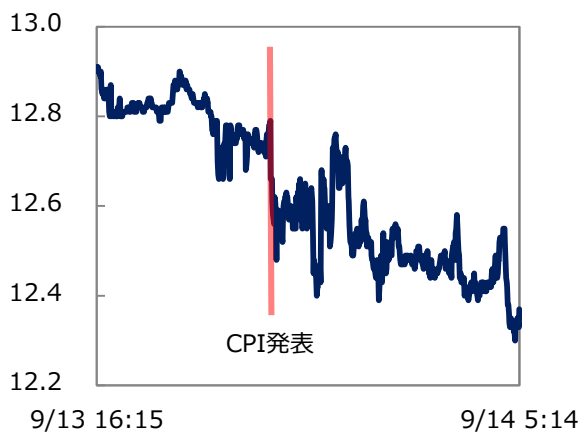
※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

米CPIの推移



※期間：2010年8月～2018年8月（月次）
前年同月比

13日のVIXの推移



※日付、時刻は日本時間

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（REIT）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

■ その他費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、
 1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。
 2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【指数の著作権等】

- VIX指数はシカゴ・オプション取引所が算出する指数です。